

点検・評価書

(平成 23 年度事業対象)

◎教育委員の活動

◎教育部

◎指導部

◎文化部

平成24年度教育委員会点検・評価対象事業等一覧(平成23年度事業等)

所管部等	No.	事業名	所管課	ページ
教育委員 の活動	1	伊禮 厚子		6
	2	仲宗根 加代子		12
	3	平良 寛吉		15
	4	運天 政徳		21
教育部	1	仲西小学校屋内運動場改築事業	総務課	24
	2	内間小学校屋内運動場改築事業	総務課	24
	3	内間幼稚園園舎改築事業	総務課	24
	4	放課後子ども教室推進事業	生涯学習振興課	25
	5	まなびフェスタ浦添事業	生涯学習振興課	26
	6	てだこ学園大学院委託事業	生涯学習振興課	26
	7	学校支援地域本部事業	生涯学習振興課	27
	8	てだこ市民大学事業	生涯学習振興課	28
	9	てだこウォーク実行委員会補助金事業	社会体育課	28
	10	学校体育施設開放事業	社会体育課	29
	11	浦添市温水プールまじゅらんらんど管理・運営事業	社会体育課	29
	12	浦添市立体育施設管理・運営事業	社会体育課	30
	13	公民館運営事業	中央公民館	30
指導部	14	県外派遣事業	学務課	32
	15	幼稚園就園奨励事業	学務課	32
	16	育英会補助事業	学務課	32
	17	就学援助事業	学務課	33
	18	小中学校管理運営事業(学校警備委託事業)	学務課	33
	19	特別支援教育事業	学校教育課	34
	20	幼稚園教育事業	学校教育課	34
	21	学力向上対策事業	学校教育課	35
	22	外国語指導事業	学校教育課	36
	23	セカンドスクール事業	学校教育課	36
	24	教育相談事業	学校教育課	37
	26	中学生海外短期留学生派遣事業	学校教育課	37
	26	こども育成運営事業	こども青少年課	38
	27	浦添市・中国泉州市小中学生交流事業	こども青少年課	40
	28	浦添市少年の船事業	こども青少年課	40
	29	研修講座事業	教育研究所	41
	30	教育相談事業	教育研究所	41
	31	教育振興事業「小学校」「中学校」コンピュータ等の整備関連事業	教育研究所	42
	32	学校情報通信技術環境整備事業	教育研究所	42
	33	学校給食調理場運営・管理等事業	調理場	43
文化部	34	文化振興事業	文化課	44
	35	てだこホール管理運営事業	文化課	45
	36	史跡浦添城跡・登録記念物保存修理事業	文化課	45
	37	浦添市内遺跡発掘調査事業	文化課	46
	38	うらおそい地域文化財保全整備事業	文化課	46
	39	市立図書館運営等事業	図書館	47
	40	美術館運営等事業	美術館	48

1, 教育委員会議について

感 想

- ・ 月2回の定例会と学習会がきちんと開催された
- ・ 定例会においては、教育長の活動報告が懇切、丁寧になされていた。
- ・ 議事について、事務局から詳しい説明や資料が準備なされ、話し合い深めることができた。
- ・ 緊急の議事が発生したときには、臨時会が開催され即、対応が図られた
- ・ 議事の通知について、事前になされていた。
- ・ 学習会においては、学力向上、生徒指導、各学校のふるさと学習への取り組み状況等について学習を深めた。
- ・ 23学年度は、教育研究所の事業内容の報告や研修生の取り組み等についての詳しい説明があり、教育研究所のことがより深く理解できた。
- ・ 児童生徒の問題行動等が発生したときには、学校現場との連絡を密にし、迅速に対応することや、委員にも報告、連絡し、早期解決に努めるための「報・連・相」体制についての再確認し、強化を図った。

要 望

- ・ 教育委員会各部（教育部、文化部、指導部）の年間事業計画は、「浦添市の教育」や「学校教育要覧」等に記載されており、教育委員が直接関わる事業については、その都度、各部の係から詳しく説明がなされる。しかし、全体の事業内容についての状況を把握するためには、各部からのレクチャーがあればより理解を深めることができると思う。教育委員会各部の事業説明等、情報交換学習会の場を（4月、5月頃）設定してほしい

2, その他の会議、研修会

① 那覇地区市町村教育委員会連合会に参加して

那覇地区教育連合会は、那覇、浦添、久米島、南・北大東の5市町村で構成、年3回の連絡会をもち、各市町村の教育課題等についての情報交換を通して、那覇地区全体の教育充実に取り組んでいる。また、各教育委員の親睦を深めるいい機会になっている。

② 沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会（豊見城中央公民館）

成 果

- ・ 会場の豊見城中央公民館は、駐車場も広く、分科会に使用する研修室も会場周辺にあり、移動がスムーズに行われ、研修時間が有効に活用できた。
- ・ 各分科会を2つのグループに分けて進めたので、多くの市町村の発表があり、研修内容が充実していた。

- ・第2分科のテーマは「学びづくりにつながる子ども・教職員・家庭・地域の連携について」研修を深めた。学校では「わかる授業の構築」、家庭では「基本的な生活習慣の確立」、地域では「挨拶など愛の声かけ運動」等に連携して取り組んでいる事例の発表があり参考になった。浦添市社会教育学級では、「親学まなぼう3年プラン」を策定し、親の意識改革に努めていることを発表し、好評を得た。

課 題

第2分科会では、各市町村が共通する課題として下の事項が揚げられた。

- ・全国学力学習状況調査の結果、小学校は、上昇傾向にあるが、中学校においては、以前きびしい状況にある。学力不振の要因の一つに、沖縄県の悪しき習慣と言われている「夜型社会」や家庭教育の低下などが大きく起因していると考えられる。学校・家庭・地域・教育行政の強い連携が今後の最重要課題である。
- ・学習ボランティアをどう確保するか。
- ・地域人材は豊富にあるが、活用がうまく図られていない。
- ・学校と家庭・地域との連携を深めるためには、教師の地域行事等への積極的な参加が必要である。
- ・家庭学習の習慣化を図るためには、教師の宿題の与え方の工夫が必要

感 想

児童生徒の学力向上は、沖縄県、浦添市の学校教育の重要課題の一つである。その対応策としては、学校を中心として家庭、地域、教育行政が一体となって、自分たちは何ができるか、何をしたらよいかを考え、実践し、本市の教育目標で掲げられている個性的で創造性あふれる幼児児童生徒の育成に関わることが必要だと感じました。（教育委員は、学校訪問等を通して各学校の学力向上の状況を把握し、その対策に努める。）

③ 沖縄県市町村教育委員研修会（那覇市民会館）に参加して

教育行政にかかわる基本的事項について理解を深め、その任務を適正かつ円滑に遂行するとともに教育行政の活性化を図るための研修

- ・研修1・・・テーマ「沖縄県次期学力向上主要施策について」
講師－黒木 義成（義務教育課、学力推進班長）
- ・研修2・・・テーマ「地域とともにある学校づくり」
講師－松浦 晃幸（文部科学省初等中等教育参事官）

感 想

教育講演を聞いて、沖縄県の平成24年度～28年度までの学力主要施策「夢・にぬふぁ星プランⅢ」の背景や施策の基本的な考え方について理解できた。また、これからの学校は、地域と一体となって子どもたちをはぐくむ「地域とともにある学校」をめざすべきであること。そのためには、コミュニティ・スクールの取り組みも視野に入れた学校づくりに積極的に取り組む必要があると思った。

④ 全県教育委員研修会（県教育庁主催）に参加して

県の教育施策への取り組み、成果、課題等について掌握できた。特に児童生徒の知・徳・体に関わる学力向上、生徒指導、健やかな体等の育成に対する実態説明があり、学校教育の課題について理解を深めることができた。また、新学習指導要領全面实施に向けて（小学校外国語活動）教育委員会、学校に求められる留意点について確認できた。

3 学校訪問について

入学式、卒業式、市内16校の合同学校訪問、校区学力向上対策実践報告会、指定研究発表会等、教育委員として学校訪問をする機会が数多くあった。訪問を通して、幼児児童生徒の様子、学校の現状、課題等について掌握でき、学校教育についてより理解を深めることができた。

① 合同学校訪問（幼稚園11校、市内小中16校）

毎年テーマを決めて、学校訪問を実施している。全学年の授業参観やテーマの「ふるさと学習」や「生徒指導」等についての情報交換をした。

感想

- ・教師のきめ細かな指導、児童生徒の興味・関心を高める授業の工夫が見られた。（地域教材、電子黒板やパワーポイント等の視聴覚機器の活用、具体物操作など取り入れた授業実践）
- ・「ふるさと学習」については、教育課程に位置づけ地域教材や地域人材を活用し、特色ある取り組みがなされていた。
- ・全体的に教室や校庭の環境整備がきちんとされ、すがすがしい気持ちで訪問できた。また、教室や廊下側の掲示物にも季節感や児童・生徒の学習を喚起する工夫が見られた。
- ・各学校においては、不登校・問題行動等の実態把握を踏まえ保護者や関係機関と連携しながら真剣に取り組んでいる。全職員の支援体制強化が生徒指導の充実につながっていることを確認することができた。

課題

- ・万引きや不登校児童生徒等が各学校おり、年々その数が増加傾向にある。原因も多様化している。早期発見、早期対応が必要と感じた。
- ・不登校児童生徒には、多くの方々（学校職員、カウンセラー、心の教室の相談員、巡回相談員等）がその対策、対応に関わっている。特に効果のあった学校の措置としては、①家庭訪問、②電話、迎え、③保護者との協力等のおかげで学校復帰に繋がったとの報告があった。関係機関との連携を密にし、一人でも多くの児童生徒が復帰できるよう継続的な取り組みが必要と感じた。教育委員としてもサポートしていきたい。
- ・学業不振が不登校の原因にもなっている。特に小学校低学年の学習に遅れがちな子には、家庭との協力や学習支援ボランティアの活用を図り基礎・基本事項の定着を図る必要がある。

② 学力向上対策実践報告会（各学校単位）に参加して

感想

- ・各学校単位で学校の特色を生かした実践報告会であった。
- ・全学年の授業実践があり、児童生徒の「授業への参加態度」、教師の「授業改善の工夫」に触れることができた。
- ・学校単位に実施したので、保護者等の参加者が多かった。

意見

- ・学対実践報告会は、校区が連携して幼児児童生徒の学力向上を図るのもねらいになっていると思う。学校単位ごとの実践報告会に参加して、連携校の職員の参加が少ないよう感じた。多くの教師が各学校の実践報告会に参加できるように工夫する必要があるのでは、

.....

③ 指定研究発表会に参加して

研修は、教師の力量を高める大切な場である。指定研究校を受け、2年～3年、全職員で研究を深めてきたすばらしい成果が研究発表会の公開授業や実践報告書にまとめられていた。現場の先生方の研究意欲の高まり感じた。頑張ってください。

感想

- ・幼小連携（牧港小）・・・幼稚園生と2年生合同の生活科「おもちゃまつり」、体育館いっぱいいろいろなあそびが準備され、幼児の生き生きと遊ぶ姿、幼児に優しく遊び方を教えている2年生のたくましが印象的でした。幼児期の発達を踏まえた総合的な指導で幼児期から児童期への発達を促す工夫が見られた実践発表でした。

- ・仲西小・・・研究主題「活用する力の育成をめざして」

～算数科における言語活動を取り入れた授業の工夫を通して～
公開授業を参観し、子どもたちが算数に興味関心をもち、生き生き取り組んでいる姿が印象に残った。また、問題解決的学習や視聴覚機器等を活用ながら算数的活動を取り入れた教師の授業改善が図られており、研究主題の「児童の活用する力」が高まっていると感じた。

- ・仲西中・・・研究主題「学習意欲を高め、確かな学力をはぐくむための指導法の工夫」

～電子黒板の活用、学びあう集団づくりのスキルを通して～
電子黒板の活用や集団づくりのスキル活用を通して、生徒の興味関心を高めたり、言語活動の活性化を意識した授業実践が図られ、生徒が集中して授業に参加している姿が見られた。

意見

- ・公開授業、研究発表会に多くの教師、保護者が参加できるよう工夫が必要があると思った。

4, 学校行事に参加して

各種の学校行事は、幼児児童生徒のたくましい成長につながる場となっている。

①儀式的行事（入園・入学式、卒園。卒業式）

感想

- ・園児・児童生徒のきらきら輝く瞳、保護者の喜び、教師の愛情を感じる儀式が挙行されており、参加する度に各学校の特色ある取り組みに感動している。
- ・各学年のメッセージ、入学式・卒業式テーマ、色とりどりの花の装飾等、儀式の雰囲気を高める会場設営の工夫があった。
- ・児童生徒全員が式服で参加しており、厳かや中で式が進行されている。
- ・壇上で、堂々と自分の夢や希望を語っている卒業生、六カ年間の成長とたくましさを感じた。（沢砥小学校の卒業式に参加して）

②体育的行事（内間小の運動会、神中の体育祭）

感想

- ・運動会、体育祭は、子どもたち一人一人が主役であり、幼児児童生徒のたくましい成長を目の当たりにできる行事である。
- ・小学校高学年の係の活動、中学生の自主的行事運営など団結、協力して、すごい力を発揮し、運動会を盛り上げていることに感動した。
- ・会場いっぱいの観覧者で盛り上がっていた。学校教育を地域の人々に理解してもらい、地域連携を図るいい機会であると思った。

5, 各種行事。大会への参加しての感想

教育委員として、各行事に参加して感じたことは、どの行事も綿密な計画の基に実施され、進行、運営がスムーズであった。担当の方々に感謝している。

①てだこ市民大学第2回入学式

2年生を中心に入学式が挙行され、よかった。年齢に関係なく、学ぶ意欲のある入学生の希望に満ちた顔は、すてきでした。市民大学の卒業生が本市のまちづくりの要につながるよう期待します。

②夜間街頭指導

神森校区の夜間街頭指導に参加した。各学校（内間小、神森小、神森中）からは問題行動につながる報告はなかったが、警察の報告では、万引きが多く見られるので、指導を強化したいということがあった。

③青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会

参加者が多かった。市民の意識を高め、青少年を守る結束の場になった大会だった。

④第15回教育文化講演会

本市の教職員の資質向上を図るために毎年、浦添市立研究所主管の事業として実施されている。23年度は、汐見稔幸氏（白梅学園大学長・東大名誉教授）を講師に「みんなで一緒にのびのび子そだて一育つ楽しさ、育てる素晴らしさ」についての講演を拝聴した。子どもの学力の基本は好奇心である、子どものコミュニケーションの基本は共感することであるという言葉が印象に残った。

⑤少年の主張大会（会場・・神中）

中学生の発表を聞き、いろいろな体験から多くのことを学んでし成長していることを感じた。9人ともすばらしいタイトルで自分の考えを堂々と主張しており、大変感動した。

⑥平成23年度浦添市社会研究大会（ハーモニセンター）

「広げよう、家庭から地域へ 子育て支援の輪」
背戸博史氏（琉球大学生涯学習教育研究センター）による「昨今の子育て事情」～日本の伝統が示唆するもの～の講演と「子育て支援の方向」「～こんな子育て支援があったらいいな～」のシンポジウムがあった。シンポジウムでは、行政、父親、母親、専門の立場からそれぞれの子育てについての発表があり、参考になった。

⑦成人式

大人としての自覚が見られ、式の挙行中には静かに参加できていた。

⑧教育委員会表彰式

多くの児童・生徒、市民の活躍を激励する教育の日の表彰は、児童生徒にやる気と夢を与え、本市の人材育成のいい結果につながる事業だと思う。

教育委員としての意見

合同訪問して感じたことは、各学校の課題は生徒指導にある。特に問題行動のある児童生徒の指導については、多くの教師が時間を費やし、精神的にもご苦労していることをより深く理解することができた。問題行動で一番多いのは、万引き、喫煙等であるとの報告があり、その背景には大人の関わりが大きいとも言われている。また、不登校児童生徒の対応にも学校の大きな課題となっている。そのような問題行動を少しでもなくするためには、「6家(ごー)運動」、「居酒屋に子どもを連れていかない運動」の推進強化を今後の最重要課題として取り組む必要がある。

平成23年度教育委員の点検評価

教育委員 仲宗根 加代子

1、教育委員会の会議について

【成果】

- ・2年目を迎えて、教育委員として立場や、考え方がだいぶ変わり、会議の内容が理解できるようになった。
- ・一年を通して会議の進行もスムーズに行われ、全体的によくまとまって運営がなされているまた、提出資料に関してもよくまとめられているように思った。

【感想】

- ・2年目ということもあり、浦添市の教育行政について、かなり理解できたし、把握することが出来たと思う。
- ・前年度も指摘したが、会議の事前連絡や、会議資料がまだ遅いように思われる。日程調整に関しても、もう少し早めに決めて欲しいと思った。

2、その他の会議、研修会への参加について

【成果】

- ・県市町村の研修会等では、多くの教育委員と意見交換や、情報交換を行うことができた。
- ・他市町村の教育情勢を知ることが出来、多くの教育委員の方々と知り合うことができた。

【感想】

- ・他市町村の教育委員と交流を深め、参考になることが多くあったし、浦添市と他市町村の教育行政の違い（良さ）を認識することができた。
- ・那覇地区市町村教育委員連合会の会議や交流はもっと増やしてもよいと思った。

3、学校訪問について

【成果】

- ・学校訪問をすることにより、学校現場がかかえている問題や教育行政に対しての要望など、様々な面から意見を聞くことができた。

【感想】

- ・今回のテーマは小学校が「ふるさと学習の状況について」と、中学校は「不登校と問題行動の実態について」でしたが、「ふるさと学習」についての状況は、思っていた以上に各学校の取り組みがきちんとされており、ふるさと学習に関する教科書まで教育委員会で提供され、それに基づいた授業が行われていたことには感心したし、また改めて各学校のふるさと学習に対する取り組みの素晴らしさを認識させられた。
- ・中学校のテーマは「不登校と問題行動の実態」だったが、どの学校でも同じ問題をかかえており、教師がやるべき役割が雑多で思った以上に過重な労働を強いられていると思っ

た。

- ・学力向上対策実践発表会は、思った以上に参加者が少数で、もったいない気がした。
これからの課題として、もっと多くの参加者（保護者など）の動員ができるような工夫が必要だと思った。

4、学校行事への参加

【成果】

- ・各種の学校行事に参加して各学校の特徴がよくわかり、一年を通しての学校行事の流れがわかった。

【感想】

- ・入学式から始まり、運動会、学芸会、卒業式など、学校で行われる行事はかなり多く、その中で、先生方の苦労も多いと感じた。
- ・学校行事に参加して、その学校の特色がとてもよく表れていて、それぞれの学校の良い面を見ることができた。

5、各種行事、大会等への参加

本市教育委員会、又は他の機関、団体が主催する各種行事、大会等への参加
(参加した主な行事、大会等)

- てだこ市民大学第1回入学式
- 夜間街頭指導
- 青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会
- てだこまつり
- 少年の船決断式、出発式、解団式
- 泉州市訪問団決断式
- 市小中陸上競技大会
- 消防出初式
- 新年祝賀会
- 成人式
- 市婦人連合会との教育懇談会
- まなびフェスタ
- 教育委員会表彰式

【感想】

- ・てだこ市民大学入学式は、浦添市の多くの市民が関心を持っていることが分かり、市民それぞれが、学びの大切さや個人が成長する姿を見ることができた。
- ・夜間街頭指導は地域の人々が子供たちを支え、育んでいることが素晴らしいと感じた。
- ・てだこまつりは浦添市の一大行事で、老若男女がこぞって参加していることに感動した。
- ・少年の船での参加は、改めて子どもたちにとって団体行動のよさや、旅で学ぶ教育に触れ、出発から、帰路に着くまでの子供たちの変化や成長が身近に感じてとてもよかった。
- ・泉州市訪問結団式に参加して、子どもたちが出発前と帰った後では表情も自信にあふれ、これからのグローバル化社会を生きていくうえでとてもよい経験になったと感じた。
- ・教育委員会表彰式はこれまで努力を重ねて結果を出している生徒や、先生方、その他地域の方々を表彰することにより、これからの励みと成長になると思った。

6、その他の意見

多くの行事に参加することにより教育行政のあり方や、やるべきことがたくさん見えてきたように思います。その中で私が強く感じたことは、学校現場で頑張っている先生方教師の仕事はとても多忙で、過重な労働を強いられていると感じました。

そして今、各家庭でのあり方（モラル面も含めて）がだんだん低下し、そのしわ寄せが子どもたちに対して悪い面で影響していることを痛感しました。

平成23年度教育委員の点検評価

教育委員 平良寛吉

1. 教育委員会の会議について

感想

- (1) 本市教育委員会は、職業と性別に偏らずバランスの取れた委員によって構成され、意思疎通が完璧で会議が円滑になされた。
- (2) 定例会・臨時会はきちんと行われ、その時々の案件に対して積極的に発言し、審議を深めることができた。
- (3) 教育庁の報告も懇切・丁寧になされた。
- (4) 事務局の議案資料等の事前配布と詳細な説明がなされて話し合いを深めることができた。
- (5) 毎月の定例会後に勉強会を持って、事務局との意見交換・情報収集、委員同士による意見交換がなされ、委員会の活性化を図ることができた。

要望

- (1) 各部課間の横の連携を密にし、常に報告連絡・相談等を徹底して行い、意思疎通を図ってもらいたい。
- (2) 教育事務の点検評価を活用して、教育委員会の今後の施策に反映してもらいたい。

2. その他の会議・研修会に参加しての感想

- (1) 沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会(豊見城市立公民館)
本大会には体調不良のため、参加できませんでした。
- (2) 沖縄県市町村教育委員研修会(那覇市民会館)

講師: 黒木義成氏

テーマ: 沖縄県次期学力向上主要施策について

- ① 幼児児童生徒一人ひとりに夢や希望を持たせ、目的意識や学ぶ意欲を向上させるためには、キャリア教育の支店を踏まえて「確かな学力」の向上を図る必要がある。
- ② 学校は「わかる授業」の構築による「確かな学力」の向上に焦点化した取り組みの推進を図る必要がある。

- (3) 全県教育委員研修会(県教育庁主催)

講演を聞いて教育委員の役割とは何か、教育委員は何をすべきか、何ができるかについて考えさせられました。

- (4) 那覇地区市町村連合会

教育委員として始めて四市町村教育委員と交流し、自己紹介もかねて親しく話し合うことができました。

3. 学校訪問について(市内16校)

初めての訪問で、地域の状況に疎な私は、訪問前日、学校の場所を確認して訪問しました。学校訪問を通して、学校の現状、教育環境、児童生徒の学習について理解を深めることができました。

訪問内容: 授業参観、ふるさと学習の取り組み、不登校・問題行動の実態と対策等について
ふるさと学習・取り組み事例

前田小学校 1年 みんなで通学路を歩こう

2年 ひかりのおくりもの

3年 もっと知りたいみんなのまち

- | | | |
|-------|----|-----------------------|
| | 4年 | 黒糖づくり |
| | 5年 | 米づくり |
| | 6年 | 職場体験 |
| 港川小学校 | 1年 | 夏の伊祖公園 |
| | 2年 | やさいそだてよう |
| | 3年 | もっと知りたいみんなのまち |
| | 4年 | カーミージー観察会 |
| | 5年 | 崎原古墓郡 尚こう王邸宅跡 |
| | 6年 | 地域の職場体験 |
| 神森小学校 | 1年 | 校区探検 |
| | 2年 | 町探検 |
| | 3年 | 図書館・市役所・養蚕施設 |
| | 4年 | 公共施設(消防署、クリーンセンター) |
| | 5年 | 自動車会社をたずねて |
| | 6年 | 泉州市との交流会(エイサー、獅子舞を披露) |

感想

- (1) 学校訪問の際は、各学校の校長・教頭に迎えていただき親切な対応に頭の下がる思いがしました。先生方の気配りに感謝いたします。
- (2) 花と緑の教育環境に接し、子どもたちが緑を愛し、育てることの芽生えとそ美しさに感動する心を育てることが教育の原点であることを学びました。
- (3) 授業参観を通して、児童の学習状況・教職員の教材研究の充実、きめ細かい指導、わかりやすい授業の工夫など先生方が情熱と使命感を持って取り組んでいる姿に感動しました。子どもたちとともに成長し子どもの心に残る教師であるよう願っております。
- (4) 児童のふるさと学習の取組状況については、担当の先生の詳しい説明で、子どもたちが浦添市の歴史を学び、地域の方々からものづくりを教わり、興味と関心を持って自然体験と社会体験に集中する活動を見て、豊かな心の芽生えを実感し、生きる力と健やかな成長を確認することができました。特に砂糖の手作りが印象に残っています。
- (5) 不登校・問題行動等については、各学校が実態把握に努め、家庭・地域と関係機関との連携・協力の下に一体となって取り組んでいることを確認することができました。

意見

- (1) 生徒指導は、最終的には、いかに生きるかという人生のテーマに迫る指導であり、ホームルームを中心に学校全体の共通認識と指導体制を確立し、更なる努力してもらいたい。
- (2) 児童生徒の不登校は増加傾向にあるといわれ、本市の教育課題のひとつであり、早期発見・早期対応が必要である。
- (3) 原因も多様化し、学業不振で授業についていけない子どもたちもいると聞く。保護者の協力を得て家庭学習の定着化を図る必要がある。
- (4) 不登校対策は、教職員・カウンセラー、心の教室相談員など多くの方々関わって、学校への復帰率を高め、大きな成果を上げている。

4. 学力向上対策・実践報告会

各学校の学力向上対策・実践報告会には、教育委員が自主的に参加し、その取組状況や授業参観を通して教職員の授業の工夫や児童生徒の学習を把握することができました。

感想

- (1)各学校とも綿密な計画のもとに特色を生かした報告がなされた。
- (2)全学年の授業実践で児童生徒の授業態度や、教師の授業の工夫、指導技術の上手な教師が多いことを実感しました。
- (3)子どもたちは、身のほどを忘れて伸びたいと思っています。至らぬ子ども、何もできない子どもも、自分を伸ばそうと思っています。先生方の教育情熱と使命感に燃えた指導が、一人ひとりの子どもたちに誇りと自身を持たせると思います。また、多くの親が教師の誠意と真摯な姿勢を求めています。先生方がますます「教師力」を生かして、児童生徒の「確かな学力」を身につけることを願っています。

意見

学力問題は、学校の努力だけでは解決しない。当然のことながら、子どもたちは学校の一員であると同時に家庭や、地域の重要な成員です。家庭におけるけじめのある生活や家庭学習の習慣化、そして沖縄の夜型社会から派生する諸問題は、家庭や地域の課題として論議され実践されなければ何一つ解決しない。

要望

本報告会に参加して感ずることは、保護者と地域の方々の参加が少ないことです。地域の人材を活用して講話に導入するなど工夫が必要かと思います。

5. 少年の主張大会(神森中学校)

感想

- (1)民主社会において、個人個人が自分の意見を述べることは大切である。少年の主張大会の機会に他人の前で堂々と自分の考えを述べることは、表現力を豊かにし、充実した学校生活を送ることができる。
- (2)自分の考えを主題にあわせてまとめてあり、聞く者に感動を共感を与える内容であった。
- (3)少年の主張は、主張者と主に聞く生徒たちと対話の心を持つことで人間関係の上で極めて大切であると思う。

意見

- (1)「おもしろそうだ」、「聞いてみたい」と思わせるテーマにする。
- (2)よどみなく流れるようにするのでなく、時にはゼスチャーをつけたり、声の大きさを変えたりして、相手の心に食い込むようにする。

要望

特定の学校に持ち回りの会場設定ではなく、少年主張大会の目的にある広く社会に訴えるためには、夏休みを利用して、てだこホールで行ったほうが良いと思う。

6. セカンドスクール事業について

セカンドスクールは、他市町村にない本市の特色ある教育活動の一つである。市内全小学校5年生の児童が2泊3日の日程で東村の豊かな自然の中で、自然体験・農漁業体験・野外キャンプ・民泊・冒険体験を行う事業である。

感想

- (1)児童が寝食を共にすることで友情を育み、仲間との信頼関係を深める。
- (2)地域の人々とのふれあいによって地域の持つ人情や思いやりを学ぶよい機会である。
- (3)自然の恩恵に触れ、思いやりを学ぶよい機会である。
- (4)集団宿泊生活を通して、規律、協力、奉仕の心を養うことができる。
- (5)野外活動を通して心身を鍛錬することができる。

教育委員は毎年東村に出向いて体験学習に集中する児童を激励し体験活動の充実に努めている。

7. 浦添市・中国泉州市小中学生交流会

感想

本市の特色ある教育活動の一つである。両市の児童・生徒が隔年毎に訪問し、交流を深めることは、相互理解と豊かな国際人育成のためのよい機会となっている。

平成23年度は、浦添市が受け入れ側であったが、何より、印象に残ったのは神森小学校との交流会であった。

泉州市の児童生徒の明るい笑顔、規律正しい行動、習字、多彩な舞踏はすばらしかった。

神森小学校の児童による歓迎のエイサーも見事で、その輪の中に入って共に踊る泉州市の子どもたちの姿に、涙が頬を流れた。

保護者も多数参加して、交流会の雰囲気を盛り上げてくれた。校長先生の英語の歓迎スピーチもすばらしかった。

両市の子どもたちの健やかな成長を祈りつつ会場を後にした。

8. 浦添市英語発表会

感想

市内各学校とも日常の学校教育の中で、英語学習の充実に取り組んでいることを感じました。この大会は、豊かな国際人育成のためのよい機会でもある。

従来の文法表現を身につける暗記型の学習活動から地域や情報を取捨選択し応用する力、課題を発見し解決する力を育成し、自ら考え情報を発信する学習スタイルへの見直しを実感しました。

また、学校教育におけるコミュニケーション能力、特に表現力向上の要素である単語力を学校間及び個人間で磨き競うことにより、英語学習が充実し、広く世界にはばたくことを期待します。

9. 学校行事

各種学校行事に参加して、子供たちの健やかな成長を実感している。

(1) 儀式的行事(入園・卒園・入学式・卒業式)

感想

①儀式的行事は、学校行事の中で最も重要な行事であり、綿密な計画の下に諸準備がなされている。

②肯定には春の日差しを浴びて花々が咲き誇り、式場には色とりどりの花鉢が飾られ、一鉢一鉢に子ども達の心がこもって会場の雰囲気を盛り上げている。

③式服で参加する子ども達の瞳、壇上で堂々と自分の夢を語るたくましい卒業、晴れの我が子の姿に喜ぶ保護者の皆さん、教師の思いやりと深い愛情など、毎年変わらぬ式典に大きな感動を覚えます。

④儀式的学校行事に参加するたびに、子ども達の人生の節目を感じると同時に次への目標に向かって出発する子ども達の前途に幸多かれと心から祈っています。

要望

皆出席賞の授与だけでなく、各科優秀賞の授与も考えてはどうでしょうか。子ども達への大きな励みになると思います。

(2) 体育的行事(運動会、体育祭)

感想

①運動会、体育祭は平素の学習によって磨き上げた心と技と体力を発揮して、その成果を試す機会であり、同時に様々な演技・協議・応援を通してお互いの友情を深め合いながら、青春の若さを発揮する場と思います。また、保護者や地域の人々に学校教育を理解させ、連帯感を深めるよい機会でもあります。

②浦添小学校の運動会に参加して感じたことは、児童一人ひとりが主役となって取り組み、特に5・6年生は、上級生としての自覚をもって主体的に活躍し、競技・演技ともに整然と行われ見ごたえのあるすばらしい運動会であった。保護者や地域の人々の参加も多く、競技・演技に大きな拍手が沸き、まれに見るすばらしい運動会であった。

10. 各種行事大会への参加と感想

各種行事・大会とも緻密な計画のもとに進行運営と円滑に行われた。

(1) 愛の声かけ運動

本市の特色ある取り組みで高校生を含む多くの地域の人々が参加して運動を展開する。

(2) てだこ市民大学入学式

年齢に関係なく、学習意欲に満ちた入学生に接し、人間は一生を通して学ぶ存在であることを実感した。

(3) 青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会

市民の参加者が多く、地域ぐるみで青少年を守ろうという意気込みを感じた大会であった。

(4) 夜間街頭指導

夜間街頭指導出発前に、本市は万引きが多いことが話し合われた。

(5) 教育委員会表彰

本市の教育の日に個人5の市民の表彰、善行児童生徒の49、団体20の表彰をして激励することができた。

(6) 市子ども会まつり

子ども達のすばらしい演技を鑑賞して、本市の将来を担う子ども達の成長に感動しました。

(7) 消防出初式

新年早々消防団員の厳しい訓練と態度に感銘を受けました。

(8) 成人式

大人としての自覚と責任が感じられ、式は整然と行われた。

11. その他の大会への参加

(1) 青少年健全育成市民会議総会

(2) 市PTA連合会総会

(3) 浦添市・泉州市小中学校交流出発式、解団式

(4) 浦添市小中学校陸上競技大会

(5) 浦添市自治会対抗陸上競技大会

(6) 教育研究所入所式

(7) 社会教育研究大会

(8) CGC(クリーングリーングレイシャス)出発式

(9) 学校給食会

(10) 浦添市音楽祭

(11) 社会教育学級生大会

(12) まなびフェスタ浦添 2013

- (13) 公民館まつり
- (14) 教育研究員成果報告会終了式
- (15) 浦添市英語発表会
- (16) 浦添市小中学校童話・お話・意見発表大会

平成23年度教育委員の点検評価

教育委員 運天政徳

1、教育委員会の会議について

成果 ・合議制の中での議決は各委員十分に意見を出し議論し裁決をし合えたと思う。
・時間に余裕のある時、例えば「いじめ問題」の勉強会はよかったと思う。

課題 ・事務局からの連絡事項は多くはうまくできているが時として遅いものがある。
特に議案事項は前もって早めに連絡をしてほしい。定例会その日の提案には判断に窮するところもある。

2、その他会議、研修会への参加について

成果 ・県内他市町村教育委員との情報交換は当然必要であるが特に那覇地区連合会はもっと密な交換が必要と思う。

その思いで那覇地区連合会の南北大東村での視察研修会を提案した。続いて久米島での視察研修が出来ればよいと思う。（24年7月に南北大東村での視察研修を実施した）

・5月の県市町村教育委員研修会豊見城大会で「学校支援地域本部事業」についての意見発表をした。

・同じく豊見城大会での分科会グループ討論は、浦添大会に続き2グループに分けたことは全委員が発言でき、各委員会の特色も見られ定着出来たものと思われる。提案者としてうれしい。

課題、感想

・10月の那覇市民会館での市町村教育委員の研修会、1～2月の県庁での研修会では個々の情報交換は難しい面もあるが、2回ある那覇地区の委員会会議では個々でもわりとやり易い。懇親会も含めて大いに活用、情報交換ができる。それを活かす場でありたい。

3、学校訪問について

成果 ・今年度の訪問時のテーマは「ふるさと学習の状況について」であった。
思ったより以上の幅広い学習状況に感心した。先生方の熱のこもったふるさと学習への取り組みが非常にうれしい。小学校から浦添の歴史、文化、地理、環境等々の学習することはふるさとに誇りと自信を植え付けるものであり今後大いに取り組んで欲しい。

・中学校は「不登校、問題行動の実態と対策について」のテーマであった。
毎年の課題であろうが委員会と学校現場との密な情報交換ができているのがよい。それをうまく活かしている。

課題 ・前年同様学力対策向上の発表会は参加者が相変わらず少ない。時間調整の中で全職員の参加が望ましい。それにプラスの保護者、自治会、関係団体に呼び掛けをする必要があると思う。

- ・学校内、教室内の美化活動にもっと力を入れて欲しい。

4、 学校行事への参加について

- 成果
- ・学習発表会の時に学対の実践発表をしているが大変いいことだと思う。
(但し、会場の騒々しさの中ではあるが)
 - ・運動会における郷土色豊かな演舞がよい。(ソーラン節もあったが)
これも大きなふるさと学習のひとつである。
 - ・運動会の開始時間の正確さ、プログラムの進行がいい。先生方の熱心な指導が素晴らしい。

- 課題
- ・中学の卒業式は進学や社会人への第一歩を踏み出すものであり、もう少し多くの保護者が参加してもいいと思うのだが。もう大人扱いで無関心になっているのだろうか。父母のみならず祖父母の参加も呼びかけては。

5、 各種行事、大会等への参加について

- 成果
- ・青少年健全育成市民会議との教育懇話会はよかったと思う。
不登校、問題行動、万引き等々多々ある課題を同じテーブルに乗せ、特に現場活動の限界も聴かせてもらい、今後の活動の協力体制に有意義であったと思う。

- 課題
- ・「少年の船」が今期限りでなくなるのは非常に残念である。
それに変わる新しい企画を考える必要がある。青少年が他県の青少年と交流の中から、自分達の立ち位置を確認し自分達の良さを見出し、今後に活かす工夫をさせる場でもあると思う。将来を担う人材の育成のよき場である。
 - ・青少年健全育成市民会議又は市PTA連合会とは毎年意見交換会を行ってもいいのではないか。
各種団体との意見交換は勿論必要だが昨今のいじめ自殺問題等々がクローズアップしている中、現状把握をしておく必要もあると思う。
 - ・委員会関連の行事は定期のもの、臨時のもの、飛び込みのもの多々あると思うが事務局は情報をどんどん流してほしい。参加の可否は各委員で判断していいと思う

6、 提案

- ・てだこウォークはふるさとを足で辿り知るふるさとウォークであると思う。
その意味でも親子参加でふるさと学習をする絶好の場でもあると思う。
こんなコースもあっていいと思う。
(1) 舜天王コース (2) 英祖王コース
(3) 察度王コース (4) 軽便鉄道コース
(5) 牧港川散策コース 等々
身近なふるさと学習を親子で体験でき、市内の小中学校に今まで以上に呼び掛ける工夫も必要と思う。そのためのユニークなコースの新設も楽しいと思う。

- ・ 24年度は毎月の定例会を1回に変更した。必要があれば臨時会で対応しようと決定した。しかし蓋をあけて見ると何か歯が抜けた感じになってしまった。25年度はしっかりしとた定例会にし、月2回の定例会に復活すべきだを考える。委員間の意志の疎通、委員と事務方とのコミュニケーションをはかり、大事な議案討議の一層の内容充実化を図ることが望ましい。
2回復活を希望します。

以上

教育委員会点検・評価書(平成23年度事業等)

(2)教育部

事業名(所管課)・事業概要(事業費)	備考(成果、課題等)
1.仲西小学校屋内運動場改築事業(総務課) 昭和51年に建設された同施設は築33年が経過し、機能的及び構造的に老朽化が著しく進み危険な状態であるため、児童が安全・安心に体育の授業等ができるよう早急に整備を行う。 構造:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 階数:2階 延べ面積:1,215㎡ (343,505,400円)	【成果】 老朽化し、耐力的に危険な屋内運動場を改築したことで、耐震性を確保するとともに、児童により安全で快適な教育環境を提供することができた。
2.内間小学校屋内運動場改築事業(総務課) 昭和55年に建設された同施設は築29年が経過し、機能的及び構造的に老朽化が著しく進み危険な状態であるため、児童が安全・安心に体育の授業等ができるよう整備を行う。 屋内運動場・園舎の複合施設 構造:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 階数:3階(1階園舎、2・3階屋内運動場) 延べ面積:1,215㎡ (330,594,500円)	【成果】 老朽化し、危険な状態となっていた同施設を改築したことで、耐震性を確保するとともに、生徒により安全で快適な教育環境を提供することができた。
3.内間幼稚園園舎改築事業(総務課) 昭和53年に建設された同施設は築32年が経過し、機能的及び構造的に老朽化が著しく進み危険な状態であるため、児童が安全・安心に体育の授業等ができるよう整備を行う。 屋内運動場・園舎の複合施設 構造:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 階数:3階(1階園舎、2・3階屋内運動場) 延べ面積:725㎡ (184,833,805円)	【成果】 老朽化し、危険な状態となっていた同施設を改築したことで、耐震性を確保するとともに、児童により安全で快適な教育環境を提供することができた。